

《2018年9月いわき応援・賛美（うた）の旅 報告》

おしゃべり賛美歌・菅原早樹

今年も、東北に伺うことができたことを、心より感謝して、ご報告させていただきます。

今年は9月に福島県いわきにお伺いしました。

福島県へは震災以降の訪問は5回目、いわきには2015年から連続4回目になります。

9月21日（金）に夜行バスで関西を発ち、22日（土）朝、いわきに到着。この日は、久しぶりのいわきの空気をゆっくり味わいながらのんびり過ごさせて頂きました。

いわきでは福島第一聖書バプテスト教会の御好意で、今年も教会のゲストルームに泊まらせて頂き、また車も、普段宣教師の先生が使っておられる車をお借りして、自由に行動させて頂きました。

23日（日）は平バプテスト教会にて、午前は礼拝メッセージと特別賛美の御奉仕、午後からチャペルコンサートの御奉仕をさせて頂きました。

昨年に引き続き2回目でしたが、今年は、礼拝メッセージの御奉仕もさせて頂くということで緊張もありましたが、私自身が恵まれるひと時を過ごさせて頂きました。昨年お会いした方だけでなく、初めてお会いする方もいらっしゃり、嬉しい出会いの時となりました。

コンサートの後も、教会の姉妹や牧師の丹野先生と佳きお交わりを頂き、一方通行でなく、たがいに励まし合う素晴らしい時を過ごさせて頂きました。



上、福島第一聖書バプテスト教会 2階ホールの3.11.メモリアルコーナー



上、平バプテスト教会、コンサートのセッティング

下左、契約の箱のレプリカと仮庵
下右、ワークショップの後、頂いたイスラエル料理



24日（月）はオフでしたが、この日は、郡山のキリスト愛の福音教会を訪問させて頂きました。以前にも平日に訪問させて頂き、友人と、また牧師の坪井先生とお交わりさせて頂いたことがありましたが、この日は、旧約聖書の「仮庵の祭り」のセミナー＆ワークショップを開催されるとのことで

参加させて頂き、興味深い学びのひと時を過ごさせて頂きました。

また、郡山からの帰りに、足を延ばして会津まで行き、ほんの少しの時間でしたが、以前訪問して大好きになった七日町の街を訪れ、その風情を堪能しました。

ナビつきの車をお借りしているおかげで、このように自分で行きたいところを自由に訪問することができる恵みを大いに感謝致しました。



右、安達太良の空



左、ちょっとカフェ

25日(火)午前は福島第一聖書バプテスト教会の「ちょっとカフェ」でした。

こちらは4年連続となりますが、毎回来て下さる方、特にお仕事の休みを取ってまで来て下さる方もいらっしゃる、本当に感謝なことです。

この小さな者の拙い歌(賛美)を通して、神様がどなたかお一人でも励ましたり慰めたりして下さっているなら、ただただ感謝するばかりです。

地元の、クリスチャンではない皆さんもたくさん集っておられ、「ちくちくクラブ」という編み物のサークルができているとのこと、地域に根差した教会のお働きが広がっていることも感謝です。

25日(火)夕方からは「グローバルミッションチャペル」でコンサートをさせて頂きました。

「グローバルミッションチャペル」の森先生御夫妻とは、ピアニストの小堀英郎さんを介して京都で出会い、それを御縁にコンサートの時間を与えて下さいました。

ここでは驚くべき出会いがありました。というのも、関西出身の方がおられたのです。

いえ、単に関西というだけでなく、私と同じ西宮市出身、しかも、私が入学した中学の出身とのこと、お話をお伺いしてびっくりしました。私は途中で転校してしまったので、卒業は別の中学なのですが、コンサート前にあまりにもローカルな話題で盛り上がり、驚きつつ神様の与えて下さった出会いに感謝しました。

森章先生は外部奉仕でお留守でしたが、いわきの地で忠実に礼拝、伝道が続けておられる森先生御夫妻のお働きのためにも続けてお祈りさせて頂きたいと思います。

26日(水)も、福島第一聖書バプテスト教会で、「リラックスワークショップ」という平日のリラックスした礼拝で、特別賛美をさせて頂きました。

3曲だけの予定でしたが、昨日に引き続きお仕事を休んで下さった方のリクエストもあり、4曲賛美させて頂き、佐藤将司先生のメッセージで魂の糧を頂きました。



今回、いわきでは、あまり予定を詰め込まず、いわき滞在、福島滞在を楽しみたいと考えていました。

いわきでは、去年は仮設住宅や施設にも訪問させていただいたのですが、今年は教会、またいわきの皆さんを励ます働きを念頭に置いて訪問させて頂きました。

と言う訳で、27日(木)は、コンサートはありませんでしたが、友人の牧会しておられる教会を訪ね、様々なことを分かち合い互いに励まし合うひと時をもたせて頂きました。

そしてその後は、いわきの街でお買い物！ウインドウショッピング中心でしたが、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

いわきには新しく、イオンモールもできていましたし、経済的にも活性化しますようにとの願いから、買い物をすることで少しはそのお役にも立てるかな、と思ったりしています。

今年は、あまり被災地の現実を見ることができなかつたので、来年は計画を立てて、初めていわきに伺った時、見に連れて行って頂いたところが今、どんなふうになっているかなど、もう少し福島の実実に触れる旅になればと思っています。

昨年、帰還開始になった地域など、あちこち訪問させて頂きましたが、福島の問題は本当に終わることがないのだと感じています。

町は復興が進んでいます。

始めて福島第一聖書バプテスト教会に伺った時、「この近所にはカフェがないんです」とおっしゃっていましたが、今ではカフェもできていますし、それだけでなく、周辺にはたくさんのお店ができています。先ほども書いたようにショッピングモールもできています。

しかし、一見復興が進んでいるように見えても、原発の問題は何も解決していません。

帰還が開始になった地域にも、まだまだ問題がたくさんあり、実際に帰還しておられる方も多くはありません。

そんな福島をこの先もずっと愛して、ここも自分の故郷だと思いながら歩んでいきたいと心から願っています。

1年に1度しか伺うことができず、またこんな小さな者に何ができる訳でもないと思いつつ、福島から目をそらさず、関わりを頂いた皆さんと共に歩んでいきたいと願わされているのです。

このことを通して私自身が頂く恵みはいつも豊かで、皆さんの優しさ、あたたかさに触れ、大いに励ましを頂いていて、私にとってこの福島の地で過ごす時間は、何物にも代えがたい大切なものになっています。

是非、みなさんも福島のことをお祈りに覚えて頂ければ幸いです。

今年も滞在中、福島第一聖書バプテスト教会、とりわけ副牧師の佐藤将司先生御夫妻に、大変お世話になりました。また佐藤彰先生は、わたしがいわきを訪問する時はいつもお忙しくお留守が多いのですが、ちょっとしたタイミングを見つけてはお祈り下さり、大きな励ましを頂きました。

お世話になった皆様、背後でお祈り下さった皆様、導いて下さった神様に心より感謝致します。

来年を楽しみに28日に福島をあとにし、東京に移動、姉・露のききょうと合流し29日には御茶ノ水クリスチャンセンターでの「ゴスペル落語会 in 東京」に出演させて頂き、帰宅いたしました。

背後での皆様のお祈りに心より感謝致します。

いわきの空、また来年！

